

国際自然保護連合日本委員会 2018年度事業報告書

(2018年4月1日-2019年3月31日)

2019年6月6日 会員総会にて承認

団体としての記録

1. 加盟団体

2019年3月31日段階で、国際自然保護連合(IUCN)に加盟している日本の団体は、国家会員1(外務省)、政府機関会員1(環境省)、非政府組織15の計17団体となる。

内、IUCN日本委員会(IUCN-J)加盟団体は、本部がIUCN加盟団体となっている2団体・準会員1団体を合計し、計20団体となる。

2. 会議開催

- 4月25日 IUCN-J役員会
- 4月27日 生物多様性条約国別報告書意見交換会
- 5月16日 IUCNJ運営委員会
- 6月12日 SBSTTA22準備会合およびIUCN会員総会
- 7月26日 IUCNJ運営委員会(70周年記念シンポジウム準備会)
- 8月29日 70周年記念シンポジウム準備会(IUCNJ運営委員会)
- 9月3日 日中韓IUCN会員会合の準備会合
- 10月5日 COP14に向けたポスト2020枠組み意見交換会
- 10月29日 IUCN-J会員会合の実施
- 11月7日 COP14事前準備会合の実施
- 1月23日 IUCN-J役員会
- 2月6日 ポスト2020枠組み意見交換会
- 2月18日 IUCNJ運営委員会
- 3月25日 IUCN-J会員総会

3. 外部委員会等への参加

- ・ UNDB-Jへの参画
委員会(6月21日)、幹事会(9月21日、3月18日)、運営部会(6月7日、8月31日、3月5日)、UNDB-J全国フォーラム(10月8日) 担当：道家哲平(日本自然保護協会・IUCN-J事務局長 以下肩書き略)
- ・ SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークへの参画
総会(9月30日)、幹事会(8月8日、2月20日) 担当：安藤よしの(ラムサールネットワーク日本)、名取洋司(コンサベーションインターナショナルジャパン)
- ・ IUCNアジア地域委員会(2018年9月12日～14日) 担当：道家哲平
- ・ CBD-CEPA-Informal Advisory Committee(7月5日～6日) 担当：道家哲平

4. 講演依頼等への対応

<講演等>

- ・ 2018年5月27日 造園学会ミニフォーラム「生物多様性の新しい世界目標(ポスト愛知目標)を考える」担当：渡邊綱男(自然環境研究センター・IUCN-J会長、以下肩書き略)
- 2018年8月2日 ラムサール・ネットワーク日本「田んぼの生物多様性向上とSDGs学習会」 担当：道家哲平

- ・ 2019年1月15日 総合地球環境学研究所「ポスト愛知目標を関連する条約の最新動向から考える」 担当：道家哲平
- 2019年2月5日 EPOC自然共生社会分科会セミナー2018「生物多様性とビジネスチャンス」、造園学会での発表 担当：渡邊綱男
- 2019年3月21日 天王寺動物園「SPRING NIGHT ZOO」トークカフェ「生物多様性について考えよう」担当：道家哲平

<表彰制度委員依頼>

- ・ 生物多様性アクション大賞2018 審査委員長 担当：渡邊綱男

<執筆>

- 『環境と正義』（環境法律家連盟） 担当：道家哲平

5. 主催・共催・後援・推薦事業

1.1. 表1（末尾）参照

事業に関する報告

1. IUCNのビジョン・ミッションに共感する団体・個人の増加

1. 1 IUCN-Jサポーター制度の見直し

IUCN-Jのサポーターを定義し、拡大していく仕組みの検討を行う計画であったが、十分な検討の時間と取れなかった。

1. 2 ユースの育成

生物多様性わかものネットワークから数名がIUCN-J事務局補佐として従事した。

生物多様性に関わる団体運営や、自身の成長につながるスキルアップセミナー（主催エコリーグ・生物多様性わかものネットワークへの協力 <https://goo.gl/BbvXu7>）に協力を行った。

ユースのネットワーク全国拡大のための支援も実施し、岡山、生態学会（兵庫）等へのネットワーク拡充のための会合、生物多様性わかもの会議（2月9日）を支援した。

国際会議への参加支援実績として、

1. SBSTA22-SBI2（7月2日-13日）に、矢動丸琴子（千葉大学）・大江奈巳（中央大学）を派遣し、本会議での提言・サイドイベントでの発表、ユースレポートなどの活動を支援した。なお、1名分の旅費は、UNDB-J支援事業・ユース海外派遣事業（ダイフク寄付・NACS-J管理）のご支援をいただいている。

2. 日中韓IUCN会員会合（9月8日-9日）

松代（NACS-J）、若林（JWCS）、長谷山（生物多様性わかものネットワーク）、金池（生物多様性わかものネットワーク）、角（国立環境研究所）ら5名のユース世代の参加派遣を行った。

3. 生物多様性世界ネットワーク (GYBN) 主催ユース・キャパシティビルディング・ワークショップへの参加を支援(一部) し、矢動丸琴子、島田ゆり子等が参加。
4. COP14参加支援者として矢動丸琴子、引地慶多が参加。IUCN-J報告会への参加とともに、ユース独自の報告会も実施 (2019. 1. 18)

成果として、ユースの自主的な2020年に向けた活動案が作られ、助成金等に申請が行われるなど資金調達も含めた活動が始まることとなった。2019年末時点で、ユースグループには、北海道や大阪等から計27名が、COP15に関わるチーム作りに参加することとなった。

1. 3 おりがみアクションの実施

COP10時に埋めたおりがみを記念して開催してきた、タイムカプセルイベントについては、2018年に11月11日(日)に東山動植物園で開催した。ブラザー工業・中越パルプ・リゾートトラストに協力を頂き、実施した。今回は、愛知県・名古屋市が、UNDBせいかりレーのキックオフの開催地となる可能性が高いことから、10月24日に、生物多様性条約勉強会をメディアや地域NGO向けに実施。愛知県・名古屋市・中部地方環境事務所など40名が参加し、タイムカプセルイベントも含めた今後の連携を提案した。

おりがみアクションタイムカプセルイベントは、2019年に開封し、2020年1月に予定されるUNDB-J・名古屋市共催の、UNDB成果リレー時にお披露目することを目指す。

1. 4 発信の強化・組織基盤の強化

IUCN-Jへの加盟団体数増加を目指し、広報・勧誘活動を行った。

活動を実施するための体制整備・ウェブサイトやツールの改良、恒常的な発信業務、寄付呼びかけ等を実施した。IUCN-Jウェブサイトについては、システム等が古く、リニューアルの検討が必要である。

イルカwith Friendsコンサート(7月21日(土))が開催され、IUCN-J会員団体の活動展示を行った。また、参加者2,000名のMY行動宣言を集めた。

IUCN-J事務局とNACS-J事務局との連携強化を通じた労務体制整備として、日当を含む、出張に関する旅費規定を作成し、運用を行った。

2. 会員間および海外・他セクターとの交わりの場(プラットフォーム)の創出・増加

2. 1 にじゅうまるプロジェクトの推進

IUCN-J会員団体を中心に、日本の市民・団体が愛知ターゲット実現に向けて活動できるよう、①国際情報も含む情報を収集・提供し、②目標への取り組みを動機づけし、③効果的な活動を提案し、④個別目標毎のネットワーク化を推進し、⑤目標達成状況を評価する場

の設定に貢献する。これらの諸目的を達成する事業「にじゅうまるプロジェクト」を、さらに発展させる。

- ・ にじゅうまる宣言数の拡充

2018年度末時点で、670団体902の宣言が集まった。宣言数は1年間で119事業が増えた。2018年度は、SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークの優良事例のにじゅうまる登録を実施。また、ラムサールネットワーク日本が推進する田んぼ10年プロジェクト・湿地のグリーンウェブ参加団体や、経団連自然保護協議会事例集掲載事業、昨年に続いて電機電子4団体の取り組みについて、にじゅうまる登録を推進した

- ・ 認定連携事業の運営

にじゅうまるプロジェクト等から認定されるUNDB-J認定連携事業の認定事務について、UNDB-J/Iki・Tomo推進事務局として円滑な業務を担い、生物多様性保全活動への多様な主体の連携推進に貢献した。認定連携事業第13弾は、11事業を認定。UNDB-J全国ミーティングで発表・表彰が行われた。認定連携事業第14弾は、10事業を認定。3月28日発表された。認定連携事業については、2018年度、過去の認定団体に簡単なアンケートを実施し、認定の効果などについて検討を実施。およそ4分の1の団体が、広報効果を実感している。

- ・ UNDB-Jとの連携

2018年の国際生物多様性の日のロゴの日本語化に協力した。

- ・ にじゅうまるウェブサイトのアップデート

宣言事例のなかから、認定連携事業や生物多様性アクション大賞授賞事業などを優良事例として表示させる機能の追加をしたほか、認定プロセスの中ででてくる、生物多様性保全効果が認められない、または、不確かである取り組みを「にじゅうまるグレーリスト」として注意喚起する文章を愛知ターゲットごとに整理し、ウェブページで表示した。

2. 2 会員連携のための報告会

会員間での活動報告会などの場を設け、お互いの活動をよく知る機会を設定する。IUCN専門委員会との連携を視野に、専門委員会に関する情報把握や、専門委員会所属委員との交流を行い、連携の可能性を探った。

6月5日 IUCNレッドリストシンポジウムを共催した。

8月22日 マシュー博士（IUCNウナギ専門家グループ長）との意見交換を行った。

11月5日 熊谷WCPAアジア地域委員長、キャシー・マキノンWCPA委員長との懇親（イオンワード受賞記念）を行った。

3月6日 IUCNインド事務所が支援しているトラ保全プロジェクトに従事するサントス氏の事例発表と意見交換会を実施した。

専門委員会との連携にあたって重要な資料の訳出として、COP14 保護地域関連決定の付属書資料（OECM）とIUCN-CEC NatureForAll報告書の翻訳を行った。

2. 3 日中韓IUCN会員会合への参加

第3回日中韓IUCN会員会合（中国開催）に日本の関係者4名程度が参加し、日本の生物多様性保全の優良事例を発信すると共に、2020年に北京で開催される生物多様性条約COP15に向け、東アジアでのネットワークを強化した。

出席団体は下記のとおり。

- ・野生生物保全論研究会（鈴木氏、若林氏）
- ・ラムネットJ（安藤氏）
- ・日本雁を保護する会（呉地氏）
- ・日本自然保護協会（松代氏）
- ・IUCNJ（渡邊会長・道家氏。ユース・金池氏・長谷山氏）
- ・国立環境研究所（角氏）
- ・日本野鳥の会（尾崎氏）
- ・CIジャパン（名取氏）
- ・堀江IUCN理事

2. 4 国立環境研究所との協働

2月13日、国立環境研究所代表者との情報交換・意見交換会を開催し、協定の再締結を行った。愛知ターゲット達成のための協力という従来の協定の範囲に追加してポスト愛知ターゲットの検討においても協力していくことを協定書に反映させた。今後、研究分野とNGOなどを繋ぐ取り組みを活性化していく。

3. 生物多様性に関する国際枠組みや、生物多様性を超えた持続可能な開発に関する国際枠組みなどに対し、IUCN-J会員からの関与を高める。

3. 1 生物多様性条約関連会合などへの参加を通じた、国際的情報収集・情報発信の実施

1. 生物多様性条約第22回科学技術助言補助機関会合(以下、SBSTTA22)・第2回条約実施補助機関会合(以下、SBI2)(カナダ・モントリオール、7/2-13)
2. 生物多様性条約第14回締約国会議(以下、CBD COP14)(エジプト・シャルムエルシェイク、11/10-22)を中心に、下記の活動を実施した。

SBSTTA22-SBI2に向けては、6月12日準備会合を実施の上、IUCN-J事務局より道家・矢動丸・大江が出席。ポスト2020WSやCEPA-IACなどの会合にも出席。その他、IUCN加盟団体からは、コンサベーションインターナショナルジャパン、日本国際湿地保全連合、自然環境研究センター、環境省・外務省、UNDB市民ネットワークが参加。報告会は参加した会員団体によるレポートも交えながら、7月23日（名古屋）、8月1日（東京）で実施。

ポスト2020世界枠組みの検討プロセスが固まり、参加型といったプロセスにおいて重視する理念の共有や、生物多様性コミットメントなどの仕組みの提案などがSBI2からの決定として盛り込まれるなど、今後のIUCN-Jの対応の検討が必要であることを確認した。

(SBSTTA22報告) <http://bd20.jp/category/conference/sbstta-22/>

(SBI2報告) <http://bd20.jp/category/conference/sbi2/>

(報告会ウェブサイト) <http://bd20.jp/2018-08-09/>

COP14に対しては、11月7日準備会合を実施の上、IUCN-J事務局より道家・矢動丸、生物多様性わかものネットワークから引地が出席。国連生物多様性の10年の日（UNDB-DAY）の運

営等をサポートや、IUCN関係者との情報交換などを実施した。その他、IUCN加盟団体からは、コンサベーションインターナショナルジャパン、日本国際湿地保全連合、自然環境研究センター、環境省、外務省、経団連自然保護協議会、UNDB市民ネットワークが参加。報告会は参加した会員団体によるレポートも交えながら、12月18日報告会@東京（30名程度参加）、2月8日COP14報告会の開催@愛知県（30名参加）、3月20日COP14報告会@大阪府（25名程度参加）を実施した。

（COP14報告）<http://bd20.jp/category/conference/cbd-cop14/>

22の記事を発信

報告会ウェブサイト <http://bd20.jp/18-12-20-3/>

ポスト2020枠組みについては、アジア太平洋地域会合にIUCN-J事務局道家とコンサベーションインターナショナルジャパン名取が参加した。

また、10月5日および2月6日とCBD事務局との意見交換会を実施。

3. 2 生物多様性条約事務局とのMoU(2011.12月署名)を通じた国際情報発信の実施

CBD COP14の機会を活用し、国連生物多様性の10年に関する取り組みを発信するイベントである「UNDB-DAY」を11月19日に開催した。CBD事務局とUNDB-J主催、環境省・IUCN-J共催、日本自然保護協会協力で実施。

IUCN-CEC、コンサベーションインターナショナル、WWF、RAREなどのIUCN加盟団体等が発表を行ったほか、日本からは、UNDB-J、イオン環境財団、電機電子4団体、経団連自然保護協議会、UNU-IASが発表を行った。

このような開催を通じて、国内外の優良事例を発信する場づくりを行い、国内外のネットワークを拡充し、条約実施のキャパシティビルディングに貢献する機会とした。

成果：日本の事例アピールに留まらず、主流化や2020年に向けた機運醸成などに貢献し、活発な議論が行われた。60名程度が参加し、CBD事務局からはCOP15に向けて準備を始めたとの希望が寄せられ、サイドイベントの競争が激しくなるCOP15において、1日のイベント枠を確保できるのは大きなアドバンテージとなった。

UNDB-DAY報告記事

2020に向けたラストスパートへ：UNDB-DAYレポート

<http://bd20.jp/18-11-21-2/>

3. 3 他セクター・他分野との交わりの機会となるセミナーの開催

生物多様性保全に関する最新動向を学ぶフォーラムを開催し、既存のネットワークを強化し、新たなネットワークの拡充を図ること、生物多様性と持続可能な開発目標の関係性や先進的な自然保護の考え方などを関係者に伝えることを目的に、IUCNの70周年事業としての位置づけでシンポジウム「自然を基盤としたSDGsの達成～日本から世界に発信する新しい協働～」を10月2日、エリザベスホールにて開催した。

参加者は、シンポジウム(登壇者含め) 119名 インター事務局長懇談会に約30名の参加があった。

シンポジウム報告 <http://bd20.jp/18-10-26/>

表1 主催・共催・後援事業 要更新

主催/共催等 事業			
No	日付	事業名	種別 (主催/共催/おりがみ)
1	2018/5/26	いろいろな紙飛行機を飛ばそう	おりがみ
2	2018/6/5	IUCNレッドリストシンポジウム	共催
3	2018/06/17	昆虫館むし祭り 2018 @ 樫原市昆虫館	おりがみ
4	2018/06/30	日本橋三越本店にて竹紙を使ったワークショップ	おりがみ
5	2018/7/7	日本橋三越本店にて、竹紙を使ったおりがみワークショップ	おりがみ
6	2018/07/14	老人ホーム 風の丘	おりがみ
7	2018/7/21	イルカwith Friendsコンサート	主催
8	2018/08/09	SBSTA22/SBI2報告会	主催
9	2018/08/18	東別院夏祭り	おりがみ
10	2018/08/25, 26	おりがみアクションin 日本橋三越本店	おりがみ
11	2018/08/22	マシュー博士 (IUCNウナギ専門家グループ長) との意見交換	主催
12	2018/9/15	環境デーなごや2018	おりがみ
13	2018/10/2	IUCN70周年シンポジウムの開催	共催
14	2018/9/25	オーストラリアでコアラ折紙のワークショップ	おりがみ
15	2018/10/20	環境フェスティバルふくおか2018	おりがみ
16	2018/10/24	生物多様性条約勉強会	主催
17	2018/10/28	パンダの日に上野動物園にてパンダアクション開催	おりがみ
18	2018/11/3	名古屋三越 (栄・星ヶ丘) にておりがみコアラ2020チャレンジ	おりがみ
19	2018/11/11	東山動植物園タイムカプセルプロジェクト2018	おりがみ
20	2018/11/25	クリスマスリース作り	おりがみ
21	2018/12/6, 7	エコプロ2018	おりがみ
22	2018/12/11	アトリエサチ おりがみ教室	おりがみ
23	2018/12/16	東別院 御坊まつり	おりがみ
24	2018/12/18	COP14報告会	主催
25	2019/1/27	老人ホームでおりがみ教室	おりがみ
26	2019/2/1	環境学習センターエコパルなごやマンスリー企画	おりがみ
27	2019/02/5	エコパルなごや 竹紙おりがみ	おりがみ
28	2019/02/8	COP14・生物多様性ポスト2020目標アジア太平洋地域ワークショップ報告会・ポスト2020意見交換会	主催

29	2019/02/16, 17, 23, 24	海遊館 おりがみアクション	おりがみ
29	2019/03/06	IUCNインドオフィス事業関係者との意見交換会	主催
30	2019/02/12	おりがみ教室 in アトリエサチ	共催
31	2019/2/23	富士山の日記念イベントで竹紙おりがみアクション!	主催
32	2019/02/24	東別院 こどもカフェ	おりがみ
33	2019/03/16	高蔵寺ニュータウン未来展	おりがみ
34	2019/03/20	「生物多様性課題の世界と関西の潮流を読み解く～COP14の報告から学ぶ」	主催
後援/推薦事業			(主催)
1	2018/4~2018/7	湿地のグリーンウェイブ「水のつながり。命のつながり。」	ラムサール・ネットワーク日本
2	2017/8/20	皇帝ペンギン ただいま	ラムサール・ネットワーク日本
4	2018.10-2019.3	日本自然保護大賞2018	日本自然保護協会